

「文学国語」シラバス

学科	商業科	学年	2年	類型		組	5組	単位数	3
使用教科書	高等学校 標準 文学国語（第一学習社）								
副教材等	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000（尚文出版） カラー版新国語便覧（第一学習社）								

1 学習の到達目標

- ① 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- ② 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により、観点別評価と100点法の評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	(6)(7)(8)(9)(10) (11)(12)
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。	(1) (2) (3) (4) (5)
評価方法	主な評価項目	
学習状況の観察	(1) グループワーク等での対話への取組 (2) 発問に対する応答	
言語活動の観察	(2) 言語活動への参加状況 (4) 学びの関連付け、活用への取組	
課題などの提出状況	(5) リフレクションシートの内容 (6) 長期休業中の課題 (7) 日々の課題	
発表・報告	(8) ポートフォリオ (9) プレゼンテーション	
ペーパーテスト	(10) 定期テスト (11) 校内模試 (12) 小テスト	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	調律師のるみ子さん デューク 生命は そこにひとつの席が 食事	<ul style="list-style-type: none"> 内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養う。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解する。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて解釈を深める姿勢を養う。 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情などを理解する。 	(7) (9) (8) (9)
二 学 期	相棒 ナイン 花のいざない 真珠の耳飾りの少女 フェルメールの技を読む	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考える。 登場人物の発言から表に現れない心情を読み取り、人間の関係性の深浅について考察する。 小説における「わたし」の役割や、他の登場人物にとって「わたし」がどのような存在であるかについて自分の考えをまとめる。 日本の伝統文化を論じた文章に触れ、抽象的な内容がどのように説明されているか理解する。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 対談の文章と比較して、文体の特徴や効果について考察する方法を学ぶ。 	(7)(9) (8) (8)
三 学 期	鼻 こころ バグダッドの靴磨き わたしが一番きれいだったとき 死んだ男の残したものは 春ーイラクの少女シャミラに	<ul style="list-style-type: none"> 鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解く。 場面ごとの展開を読み取り、登場人物の心情とその変化について理解を深める。 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 時系列に沿って登場人物間の関係や心情を粘り強く読み取り、登場人物の言動の背景を理解する。 設定した題材に関連する複数の作品を基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 象徴的な表現を読み取り、表現上の効果や作品世界、そこに込められた心情を理解する。 対比的に配置された詩の構造を理解し、新たな時代の戦争を描いた表現上の工夫を読み取る。 	(7)(8) (9) (8)(9)

備考 (1)(2)(3)(4)(5)(10)(11)(12)については、全ての単元において評価項目として用いる。